

## 殻むきをせずに種子を食用利用できるカボチャ新品種 「ストライプペポ」

近年、菓子類のトッピング素材などとして、カボチャ種子が利用されています。現在、カボチャ食用種子の多くは海外からの輸入によってまかなわれていますが、安全・安心な国産のカボチャ種子の供給を望む声が強くなっています。ところが、ほとんどのカボチャ品種の種子には厚い殻があり、殻を剥く作業にコストと時間を要するので、国産カボチャ食用種子の低価格化に結びつかないのが現状です。そこで、北海道農業研究センターでは、厚い殻がない種子を持つカボチャ新品種「ストライプペポ」を育成しましたので、その概要について紹介します。

### ☆ 技術の概要

1. 「ストライプペポ」は、種子に殻がないハルレスシードタイプのペポカボチャを両親とした F1 品種です。
2. 開花時期は、既存の殻が無い食用種子カボチャ品種「福種」より早く、低節位で株元近くに結実します。また、側枝の発生も少ないことから、収穫作業の省力化が図れます(表 1)。
3. 果実は球形で、橙色の果皮に濃緑色の縞が入り、平均の果実重量は 4.4kg です。10a 当たりの種子収量は 120kg 程度であり、「福種」に比べて約 2.4 倍と多収です(写真 1、表 1)。
4. 種子は「福種」に比べて細長く、やや厚みがあり、一粒あたりの重量はやや重いです。種子の色は「福種」と同じく、濃緑色です(写真 1)。
5. 果肉は「福種」と同様に、繊維分や水分が多いため、セイヨウカボチャのような調理には向きません。

表 1. 食用種子カボチャ品種の特性

品種名	第一雄花 開花日	第一雌花 開花日	第一 着果節位	注2)		果重 (kg)	果皮 色	果面		種子 収量 (kg/10a)
				株元 着果率 (%)	側枝 (本/株)			模様	色	
ストライプペポ	7/3	7/6	12.8	62.2	3.8	4.4	橙	縞	濃緑	121
福種	7/7	7/15	24.4	2.2	11.8	4.3	橙	縞	濃緑	51

注 1) 2009~2011年の平均。試験場所：農研機構北海道農業研究センター（札幌市、播種：5月下旬、定植：6月上旬、収穫：9月上旬）

注 2) 株元から50cm以内に着果したものを株元着果個体とした。



写真 1 果実と種子

### ☆ 活用面での留意点

1. 「ストライプペポ」は、北海道および東北地方といった寒地・寒冷地での栽培に向いています。栽培は慣行のセイヨウカボチャの方法に準じます。収穫は開花後約 50 日後に行い、収穫後一か月を目途に種子を取り出してください。
2. 気象条件、栽培条件等により、株元近くに着果しにくいことがあります。
3. 種子を食用とするカボチャのため、使用できない農薬があり、注意する必要があります。
4. 詳しいことは、北海道農業研究センター 水田作研究領域（011-857-9306）へお問い合わせください。（日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 吉岡 宏）